

地域医療部



地域医療部長
猪飼 伊和夫



地域医療連携室長
瀬田 公一

□ 急性期病院の超高齢者の医療に対する意義

2025年に向けて医療機能・病床の機能分化・連携を進めるため「地域医療構想」が進められている。京都南部の地域包括ケアシステムの構築過程において地域の医療機関と当院との密な連携は極めて重要である。当院は京都南部の救急・がん・先進医療を提供する高度急性医療を担う中核病院である。地域医療部は患者紹介や逆紹介、医療機器等の共同利用を通じて、地域の医療機関と当院の連携を行う窓口としての役割を果たしている。

本年度は特に救急の分野での地域連携を強化するために、1)平成29年4月から救急診療受付ダイヤルを設置し、2)循環器および産婦人科ホットラインに加えて、平成29年7月から脳卒中ホットラインを開設した。今後さらに地域の医療機関との前方・後方連携を密にしていきたい。

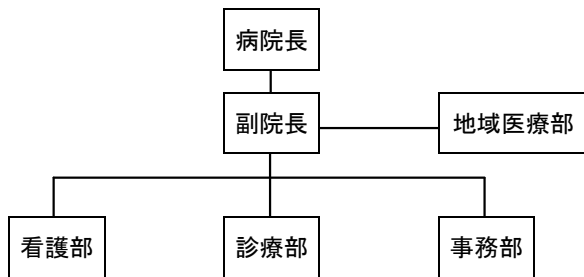
地域医療部長 猪飼 伊和夫

□ スタッフ

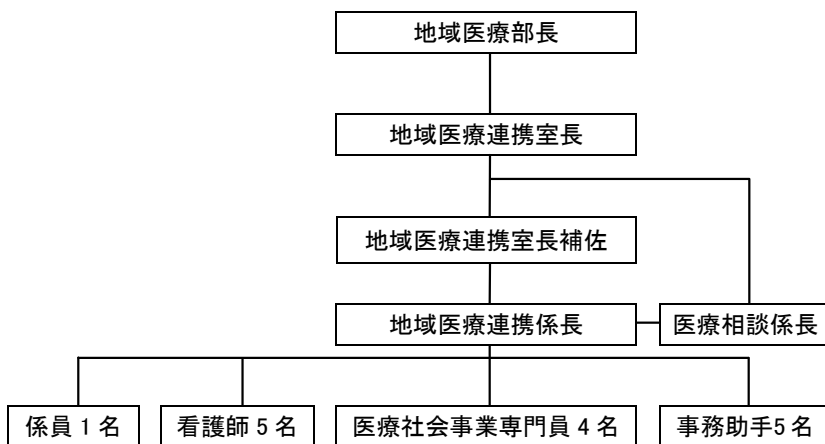
地域医療連携室長補佐・経営企画室長	水野 実
地域医療連携係長・病床管理師長	紀田 幸子
看護師	鈴木 里香
看護師	松尾 さやか
看護師	松岡 和子
看護師	河本 友貴美
看護師	細見 晃世
医療社会事業専門員	弘中 孝佳
医療社会事業専門員	石田 沙友梨
医療社会事業専門員	吉岡 孝師
医療社会事業専門員	仲江 陽大
地域医療連携係	坪井 亮太
予約担当	丸本 志帆
予約担当	沖中 直子
予約担当	諸木 真知
予約担当	前田 恭代
予約担当	長崎 順子

1. 沿革と体制

- 2002年 地域医療連携室設置
- 2007年 地域がん診療拠点病院の指定
- 2008年 地域医療支援病院の承認



構成メンバー



2. 地域医療連携室の日常活動

〈前方連携〉

- 診察・検査事前予約
- 救急紹介受診の受付と手配
- 開放型病床のデータ管理
- 紹介患者の返信確認と入退院の情報提供

〈後方連携〉

- 退院支援(転院・在宅)
- 後方支援機関との連携の強化
- 後方支援機関への紹介患者

〈相談〉

- 療養上の相談や受診についての相談
- 経済的問題の解決
- 各種制度(介護保険・障害者医療など)の相談

〈広報〉

- 外来担当表等の発送
- 広報誌『うづら便り』の発送
- 医療連携フォーラムの開催
- 各医療機関への訪問

3. 業務実績(2017年実績)

地域医療連携室経由予約件数 診療予約9,389件 検査予約1,045件
1日平均予約件数42.6件

相談件数19,437件 転院支援実績912件

転院支援実績在院日数34.9日 地域連携診療計画管理料適用患者数169件

救急受診受付1049件 救急受診受入後入院件数510件

セカンドオピニオン相談件数205件 セカンドオピニオン実績件数31件

紹介率71.8% 逆紹介率86.0% 開放型病床登録医数127件

地域医療連携委員会 1回/月

地域支援病院運営委員会 四半期1回

学会発表

平成29年11月10～11日(金・土)第71回国立病院総合医学会

「周産期領域に関する地域との連携について」ポスター

平成30年2月17日(土)日本医療マネジメント学会 第15回京滋支部学術集会

「救急診療受付ダイヤルの新設」口述

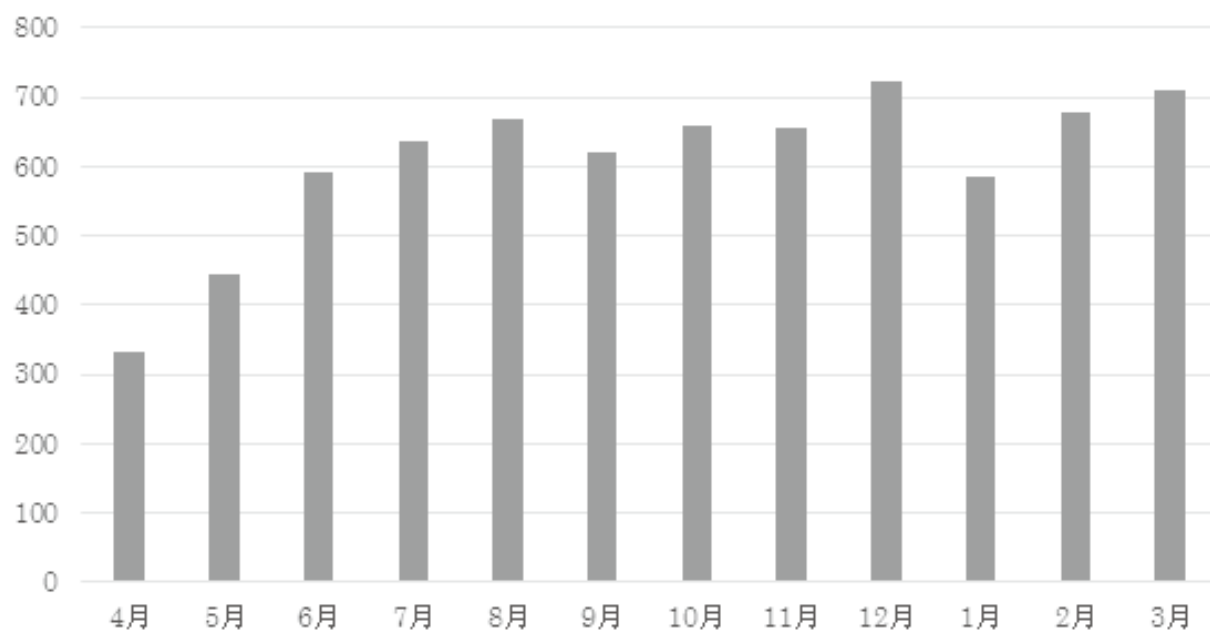
院内発表

平成30年2月17日(土)成果発表会

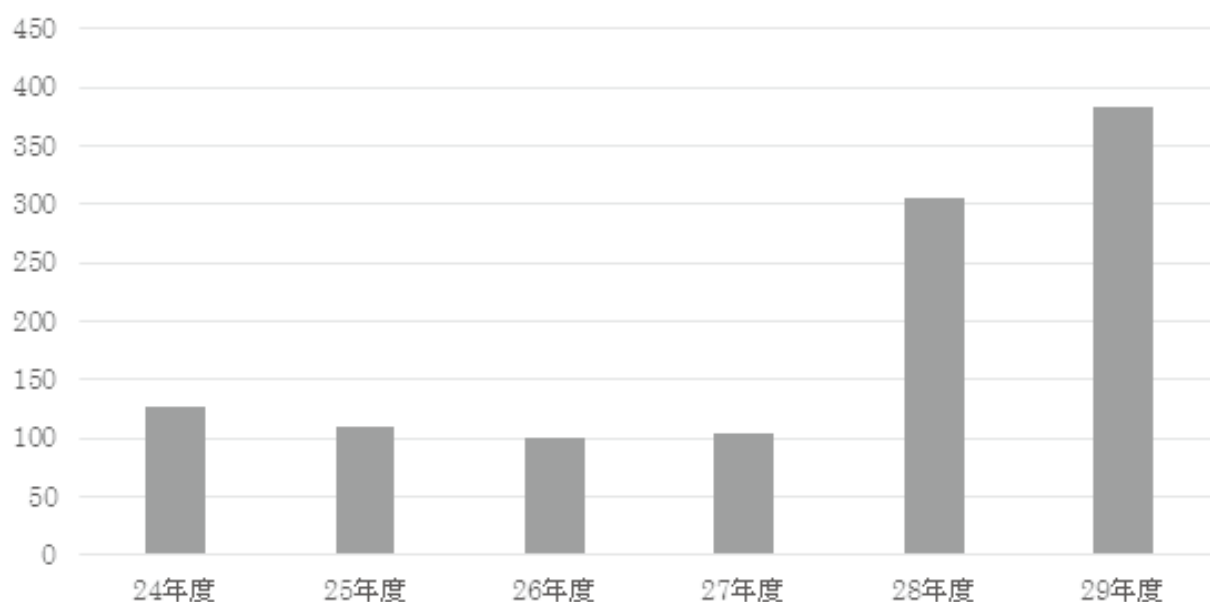
「紹介患者を増やすための地域医療部の活動とその成果」シンポジウム

「在宅療養児・者に対する地域医療連携室としての取り組み」ポスター

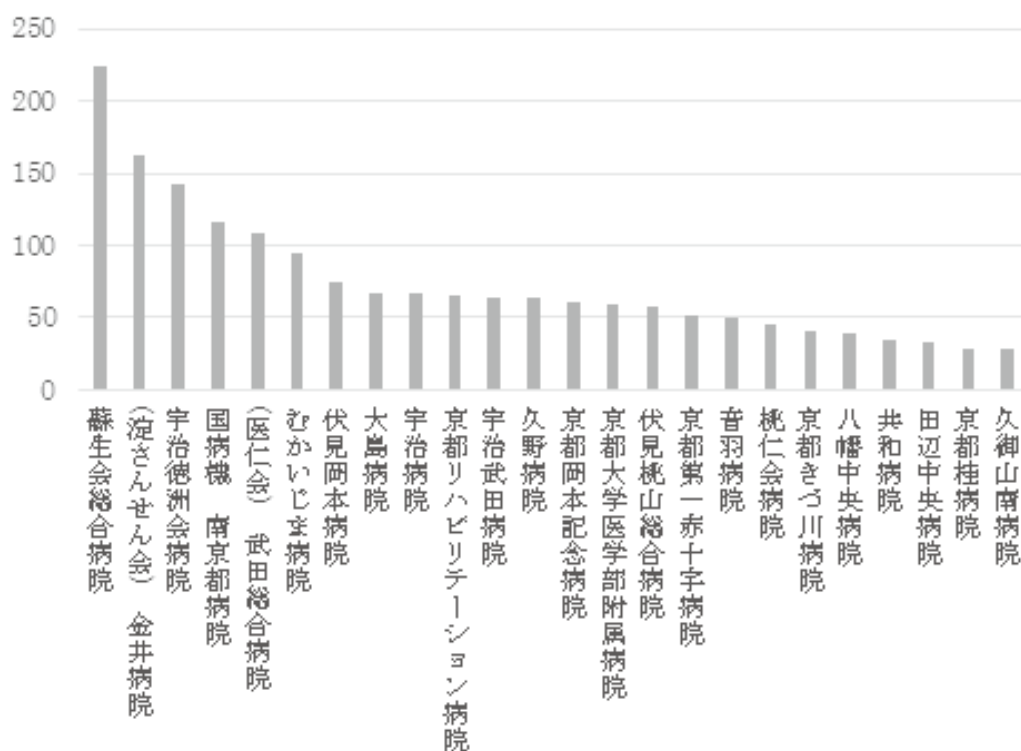
平成29年度 退院支援加算1算定件数



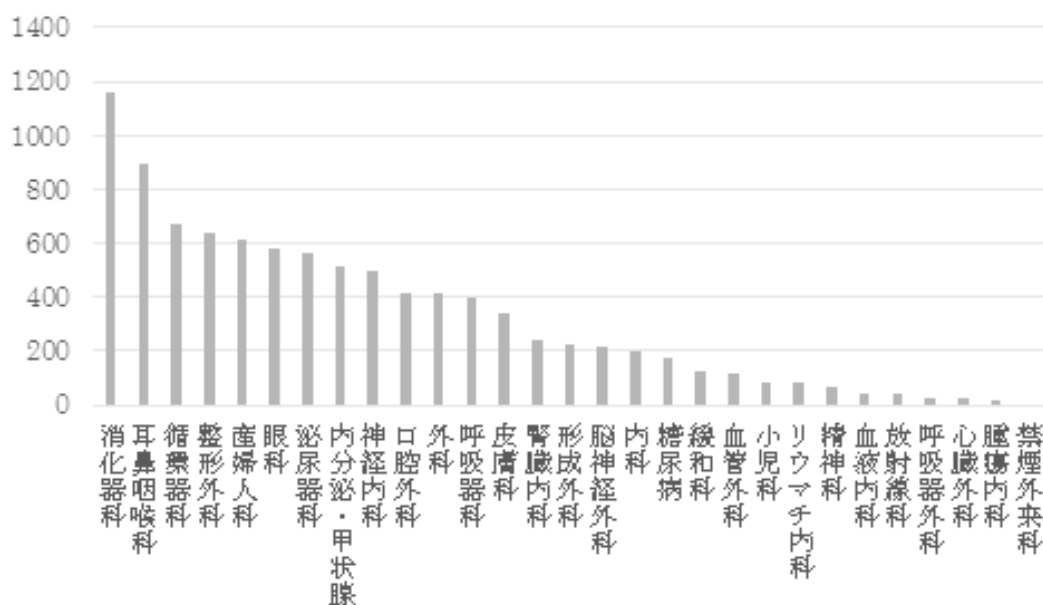
在宅支援件数



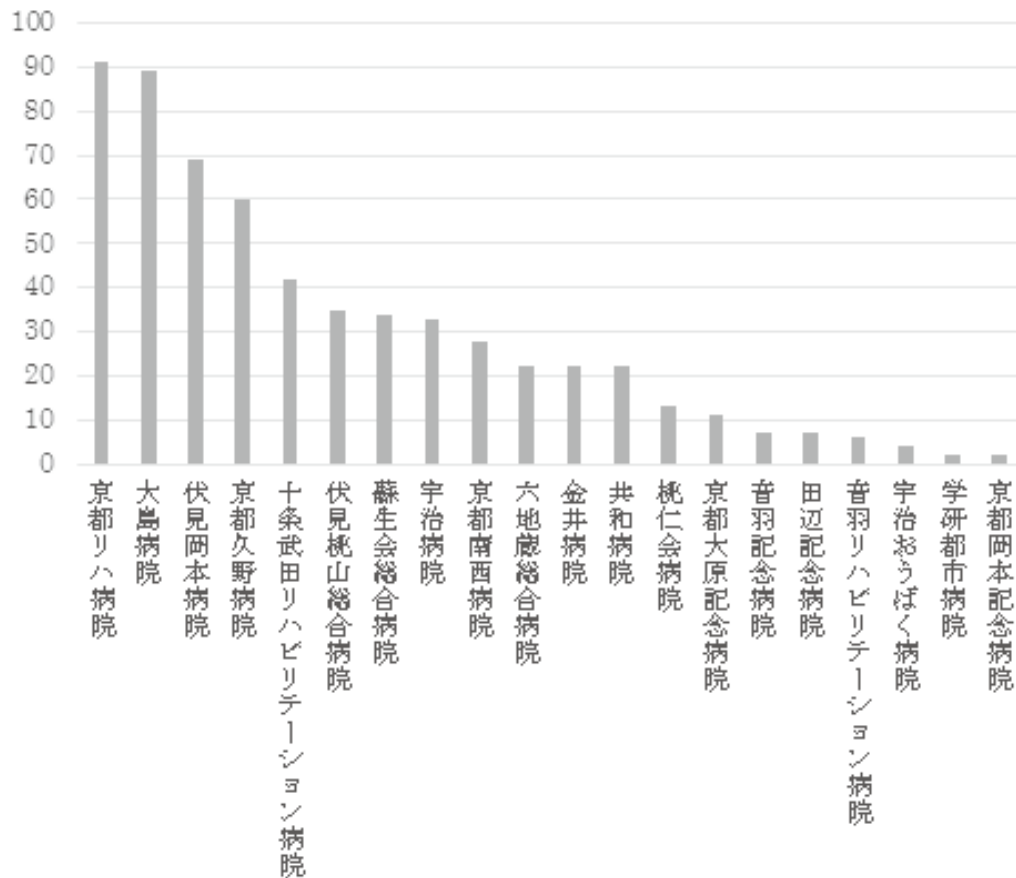
平成29年度連携室が取得した紹介予約患者数(病院)



平成29年度地域医療連携室 経由予約取得状況(診療科別)



平成29年度連携室が調整した転院先病院



平成29年度地域連携室 転院支援実績（診療科）

